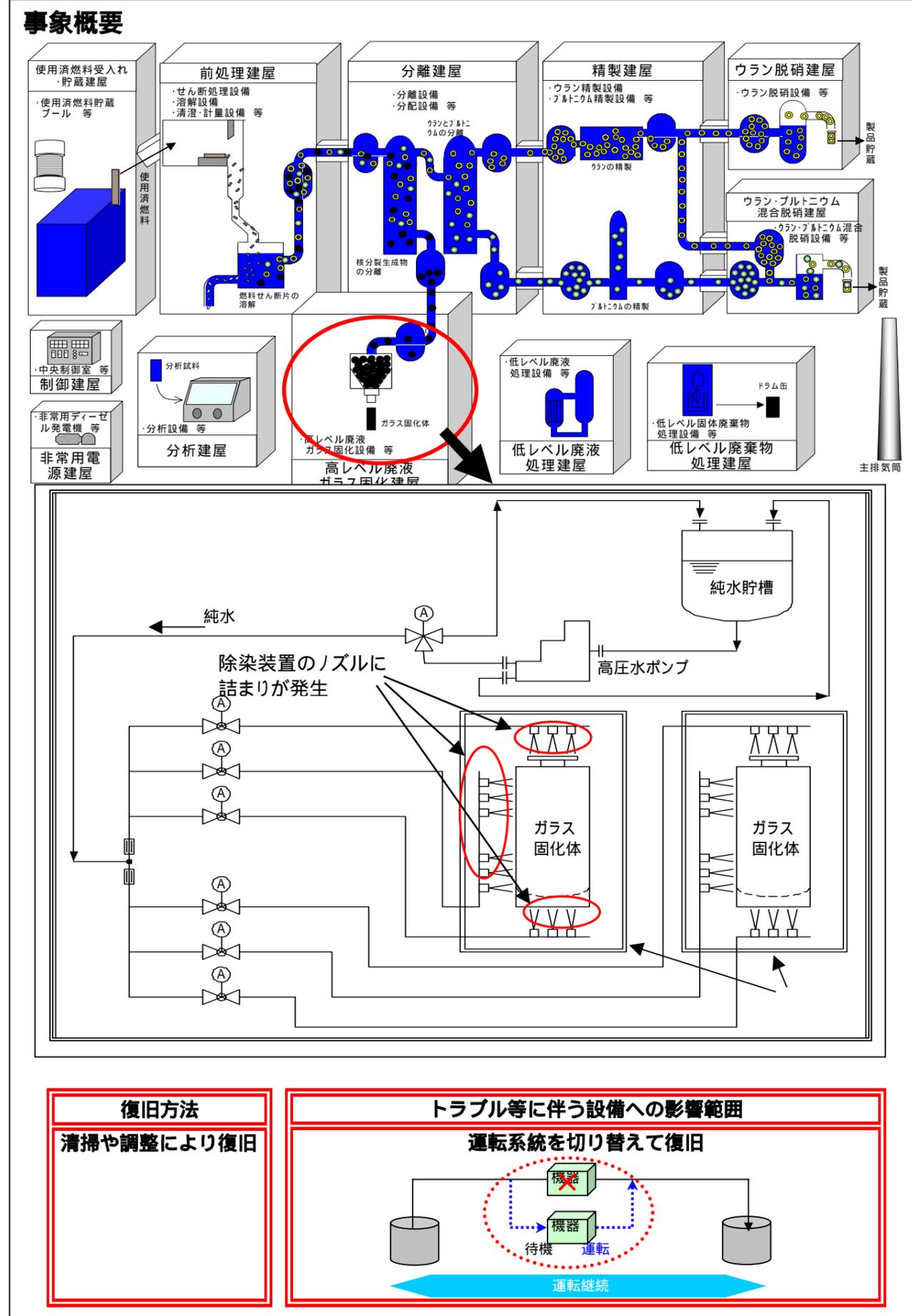


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.1 - 43)

<p>件名</p>	<p>純水供給ラインへの異物混入による純水噴射ノズルの詰まり</p>															
<p>事象の概要</p> <p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 設備の概要</p> <p>(3) 発生の状況</p> <p>(4) 概要</p> <p>(5) 原因</p>	<p>高レベル廃液ガラス固化建屋: 除染装置</p> <p>ガラス固化体の表面を高圧水とブラシ洗浄により除染する装置。ガラス固化体を装置内に吊り込み、高圧水ポンプで加圧した純水を複数のノズルから噴射すると同時にワイヤブラシを回転させることにより除染を実施する。</p> <p>除染装置の運転中</p> <p>配管洗浄が不十分であったことにより、除染装置のノズルに異物(ゴミ等)が詰まり、高圧水ポンプの吐出圧高警報が作動。</p> <p>運転を継続する中で偶発的に発生する純水供給ラインへの異物混入</p>															
<p>事象による影響</p> <p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する建屋換気設備が稼働している除染室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 警報により詰まりを検知し、ポンプを停止して詰まりを除去するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、ポンプの吐出圧力が更に上昇し、設定値を超えた場合には、ポンプを安全に自動停止する装置を設置している。</p> <p>作業員への影響は生じない。 除染装置の復旧作業は、ガラス固化体を当該エリアから移動し、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響は生じない。 除染装置は2系統あり、1系統が異常停止しても運転を継続できるため他工程への影響はない。</p>															
<p>対応の概要</p>	<p>(1) 高圧水ポンプ吐出圧高の原因を調査する。</p> <p>(2) 定められた操作手順書に従って純水供給ラインのフラッシングを実施する。</p> <p>(3) 部品の交換が必要な場合は、定められた保守作業手順書に従って、予備品と交換する。</p> <p>(4) 交換後は、異常のないことを確認し、定められた操作手順書に従って運転を再開する。</p>															
<p>公表区分*1</p>	<p>毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)</p>															
<p>情報区分*1</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="2">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報		A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等					不適合等
トラブル情報			運転情報													
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等												
				不適合等												



*1 「A 情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B 情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C 情報」:A、B 情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象